

3 システム構成に必要なスイッチ操作

1

室外ユニット スイッチ設定

ヤマハGHP SHシリーズは、システム商品ですのでシステムとして完成させるためには、室外ユニットに接続台数設定・冷媒系アドレス設定などのスイッチの操作が必要となります。必ず内容をご確認の上、スイッチの操作を行なってください。なお、誤設定の場合正常に機能しませんので注意してください。

要 点

スイッチ操作は、必ず電源を切った状態で行なってください。通電後の設定は無効となります。

1. 接続台数設定

- ・1冷媒系統に接続された室内ユニットの台数を室外ユニットコントロール基板のSW11で設定します。

スイッチ種類	設 定 範 囲	現地での設定	工場出荷状態
ロータリースイッチ	1～2 (5h) 1～6 (20h)	10進法	0

設 定 台 数	1	2	3	4	5	6
スイッチ設定						

2. 冷媒系アドレス設定(SW10)

- ・複数冷媒系統システム(異冷媒系統でのグループ運転を行なう)の場合、室外ユニットの冷媒系アドレスを室外ユニットコントロール基板のSW10で設定します。

※単一冷媒系統システム(室外ユニット単独運転を行なう)の場合は、00のままとしてください。

スイッチ種類	設 定 範 囲	現地での設定	工場出荷状態
ディップスイッチ	00～15	2進法	00

設 定 台 数	00	01	02	03	15
スイッチ設定	 OFF	 ON	 ON	 ON	 ON

注 意

同一グループ内でのアドレスの重複はできません。

2 室外ユニット 制御

1. 室外コントロール基板、ディップスイッチ機能

スイッチ名	ロータリーSW	機 能	備 考	
SWU1	1～0	アドレス設定用 1の位	遠隔監視用	通電前設定有効
SWU2	1～0	〃 10の位	アドレス設定	
SW11	1～0	室内ユニット接続台数設定	設定台数設定	

(1) DIPSW1(モニタ切換)

スイッチ	機 能	備 考
SW1	1～8	運転状態モニタ等 詳細はサービスマニュアルを参照ください。

(2) DIPSW2(機能切換1)

スイッチ	機 能	ON	OFF	備 考(常時有効)
SW2	1	冷媒過充填異常無視	異常無視	通常運転 詳細はサービスマニュアルを参照ください。
	2	室外ファン出力 100%固定	100%	通常運転 詳細はサービスマニュアルを参照ください。
	3	試運転モード切換	暖 房	冷 房 詳細はサービスマニュアルを参照ください

(3) DIPSW3(機能切換2)

スイッチ		機 能	ON	OFF	備 考
SW3	1	冷媒量調整運転	調整運転	通常運転	室外ユニット停止時有効 調整運転開始2時間後終了
	2	強制除霜	除霜運転	通常運転	常時
	3	ポンプダウン	ポンプダウン	通常運転	室外ユニット停止時有効 ポンプダウン開始40分後終了
	4	未使用			
	5	冷媒量確認モードの決定	オートと逆モード	オート	常時
	6	エンジンオイル補給	補 給	通 常	室外ユニット停止時
	7	室外ユニットから運転 許可／禁止	許 可	禁 止	常時有効
	8	室外ユニットから運転 運転／停止 (SW3-7ON時有効)	運 転	停 止	ON時 全室内ユニットを 試運転モードで運転 OFF時 全室内ユニットを停止

注. YACSJ140-A(5h)はSW2-1, SW3-1. 5. 6の機能はありません。

(4) DIPSW4(機能切替3)

スイッチ	機 能	ON	OFF	備 考
SW4	6	外部接点入力の機能切替	冷暖切替	通電前
	8	オールフレッシュ加湿 凍結防止制御	凍結防止 通 常	

注. YACSJ140-A(5h)は上記の機能はありません。OFFは通常運転となります。

(5) タクトスイッチSW5(定期点検完了)

スイッチ動作	内 容
3秒間押す。	メンテ実施警告の運転時間カウン트가0時間にリセットされます。 (室外ユニット停止時)

(6) DIPSW6(ガス種設定スイッチ)

ガ ス 種	スイッチ	SW6			
		1	2	3	4
13A		ON	OFF	OFF	OFF
LPGい号プロパン(LPG)		OFF	ON	OFF	OFF
12A		ON	ON	OFF	OFF
L1(6C)		OFF	OFF	ON	OFF
L1(7C)		ON	OFF	ON	OFF
6A		OFF	ON	ON	OFF
L1(6B)		ON	ON	ON	OFF
LPGは号プロパン(ブタン)		OFF	OFF	OFF	ON
L1(5A)		ON	OFF	OFF	ON
L1(5B)		OFF	ON	OFF	ON
L2(5AN), 5C		ON	ON	OFF	ON
L3(4A)		ON	OFF	ON	ON
L3(4B)		OFF	ON	ON	ON
L3(4C)		OFF	OFF	ON	ON

※通電後60分以内(室外ユニット停止時)

(7) DIPSW9(冷却水エア抜きスイッチ)

詳細はサービスマニュアルを参照ください。

(8) DIPSW10(冷媒系アドレス)

複数冷媒系統システム(異冷媒系統でのグループ運転を行なう)の場合、室外ユニットの冷媒系アドレスを設定します。

※単一冷媒系統システム(室外ユニット単独運動を行なう)の場合は、工場出荷(00)のままとしてください。

3

室内ユニット
制御

(1) 概要

- サーミスタ〈吸込温度検知部〉は、室内ユニット吸込口に取付けてあります。また、リモコンによる機能選択でリモコン内蔵センサを使用することもできます。
- 応急運転はできません。

項 目		仕 様
運転モード		冷房／暖房／ドライ／自動／送風
風速切換		強／中1／中2／弱4段(注1参照)
温度設定範囲		冷房19～30℃(ドライ含) 暖房17～28℃／自動19～28℃
ディファレンシャル		1deg
サーミスタ<吸込温度検知>位置		吸込口(リモコンによる機能選択によりリモコン内蔵センサ)
リモコン表示		デジタル液晶表示(運転モード、設定温度、ペーン位置等)
自己診断		リモコン液晶表示
応急運転		無
試運転スイッチ		有(リモコンスイッチ2度押し)サーモのみ常時ON
3分再起動防止		有
冷房時	凍結防止	有(液管配管温度1℃以下)
	凍結保護	無
暖房時	冷風ストップ	無
	ホットアジャスト	有
	過昇保護	無
	サーモ設定4degアップ	有(リモコンによる機能選択で無効)
	霜取運転	室外ユニットが霜取運転に入った場合室内ユニットは吸込温度～液管温度差によりファン制御を行ないます。
ドライ時		冷房と同様の動作をしますがサーモ機能が変わります。
自動時(注2)		自動冷房は冷房と、自動暖房は暖房と同様の動作をします。

注1. YAESJ280C形、YAES・ES形、YAES・T-A1(-C)形、YAESJ280P形は、強／弱2段。YAESJ560P形は1段。

注2. ・自動冷房からのモード変更条件

リモコン設定温度 $\geq$ 室内ユニット吸い込み温度 $+2^{\circ}\text{C}$ かつ15分経過

・自動暖房からのモード変更条件

リモコン設定温度 $\leq$ 室内ユニット吸い込み温度 -2°C かつ15分経過